

HSK

会報「石川守る会」

NO.105

石川県重症心身障害児（者）を守る会
全国重症心身障害児（者）を守る会
石川県支部 会長 永井 一郎

急に真夏のような暑い日が続き、体調を整えるのが大変ですね。

会員の皆さま方やお子さま方にお変わりはないでしょうか。

さて、能登半島地震から6ヶ月余りが経ちますが、被災された皆さんの生活再建が中々進んでいないようで住民の方々の不安が思いやられます。

国や県をあげての早い対応が望まれます。

「石川県重症心身障害児(者)を守る会」の会員の皆さんの高齢化が進み、活動に参加することが難しくなっている方もおられます。

しかし、最も弱いものをひとりももれなく守るためには「守る会」の活動を多くの方々に知って頂き、会の存在意義も広めていきたいと考えています。

そこで、今年から「インスタグラム」での発信や、ホームページの開設にも取り組むことにしました。

皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

「石川県重症心身障害児(者)を守る会」総会が開催されました

6月9日(日) 医王病院の地域医療研修室をお借りして2024年度の総会が開催されました。当日は来賓として石川県健康福祉部障害保健福祉課課長 小泉敏浩様、金沢市福祉局障害福祉課課長 中島三津男様、独立行政法人国立病院機構医王病院院長 石田千穂様、同診療部長 丸橋圭子様、同療育指導室長 桑原啓史様 石川県立医王特別支援学校校長 居村恵子様 石川県立いしかわ特別支援学校校長 杉江哲治様 石川県立明和特別支援学校校長 岡部康英様方にご臨席頂きました。

石川県の小泉課長様からは「元日に起きた能登半島地震による甚大な被害を経験したことにより地震対策を見直すことの必要性を話されました。また2022年に医王病院に開設された「いしかわ医療的ケア児支援センター」の取り組みでも本人や家族のみなさんのニーズに対応できるよう努力していきたい。」とのご挨拶がありました。

金沢市の中島課長様からは「災害時にも安心して生活できるよう地域防災計画の見直しや障害児の災害時における避難計画の見直しに取り組むことの必要性」を話されました。医王病院の居村院長様からは「病院の建物自体に被害はなくよかったです。

しかし緊急入院の要請や在宅の方の一時入院の希望もあり、災害時の訓練を見直す必要もある。また、コロナ禍から続いている面会制限について少しずつ改善されているが現在は月2回の面会で時間や人数の制限はあるので理解して頂きたい」とのお話がありました。

その後能登半島地震後ということもあり、例年とは少し違うのですが地震で被害を経験された会員の方にお話を頂きました。

能登半島地震を体験して

私たち夫婦は金沢市内の山間部で重症心身障害児の娘 K とその姉と暮していました。1日は初めて経験する大きな揺れにパニックになりました。姉が K を抱いて何とか外に出ました。家の中は壁に亀裂が入ってバラバラと落ちていたり、食器など棚のものが散乱していて足の踏み場も無い状態でした。なにをどうしていいのかわからず居ましたが、しばらくして金沢市内に住んでいる息子が駆けつけてきてくれました。とにかくこの状態では娘を寝かせることもできないので息子の家に避難することにしました。紙オムツや着替え、胃漏のセットなどを積み込んで息子の家に向かいました。数日居ましたがやはり自宅でないとなんか落ち着かず介護もスムーズに行かないので、最小限の片付けをして自宅に戻りました。

普段からデリケートな娘で少し変わったことがあると発熱することも多かったのですが今回は体調を崩すこともなかったのが幸いでした。それ以後胃漏の注入用の栄養剤も2週間分もらうようにしています。

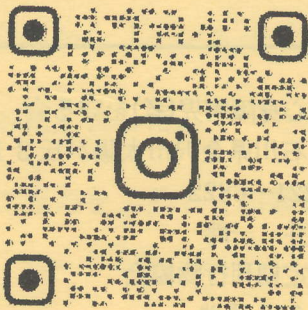
私たちは能都町に住んでいます。重症心身障害児の息子Yは金沢の医王病院に入所しています。1月1日は家族で初詣も済ませ、寛いでいた時に突然大きな揺れに襲われ外に避難しました。昔からの大きな家はほとんど崩れましたが、誰も巻き込まれなかったのが幸いでした。ビニールハウスに必要なものを持ち込みしばらく過ごしました。妻の体調が悪いため3台の内かろうじて潰されなかった車で能美市にいる次男の家に避難し、すぐ入院し手術を受けました。おかげさまで今は退院し、体調も落ち着いています。能美で家を借り、仕事のため能登を離れられない長男の子ども達と暮していました。学校も能美市に転校していましたが、今は能登の学校に戻りました。現在は医王病院に入所している息子の面会と潰された家の片付けに通っています。今後のことはまだ決まっておらず息子達と相談しながら思案しているところです。「守る会」からの支援金ありがとうございました。

*地震の被害にあわれた会員の方でまだ本部のアンケート調査に答えておられない方やアンケートが届いていない方は紺井さん(Tel076-288-5413)まで連絡して下さい。まだ調査は続いていますので被害状況をお知らせください。

その後議案の審議に移り、まず令和5年度の活動報告と会計収支報告が行われました。新型コロナウイルス感染による制限もゆるんで少しずつ活動も再開できるようになりました。全国大会(4名)やブロック大会(9名)にも参加できました。また、お子さん達への誕生日カード作りはコロナ禍もずっと取り組んできました。

活動報告、会計収支報告ともに承認されました。

令和6年度の事業計画案と会計予算案が提案されました。今年度は特に若い保護者のみなさんへの情報提供につなげたいと、本部からの補助も受けながらホームページの開設に取り組むことが提案されました。インスタグラムはすでに発信しています。初めて重い障害のある子どもさんを育てることになって、戸惑っておられるみなさんとながりをを持てたらと考えています。



フォロー
よろしく
お願いします!

jusun_mamorukai_ishikawa

第三種郵便物承認 HSK 通巻 5909 号 2024 年 7 月 10 日発行

総会に先立ち前会長山本衛さんのご冥福を祈って黙祷を捧げました。

山本さんは重い障害のある子ども達の幸せを願い石川県に「重症心身障害児(者)を守る会」を立ち上げるために尽力されました。

立ち上げ後も生の文化に触れる機会の少ない子ども達のために一泊二日の療育キャンプ、車いすダンスの体験、音楽療法、等々また、保護者のみなさんのための研修会、成年後見制度の学習会の企画などに力を尽くされました。ありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

尚、昨年度山本さんからご寄付を頂きました。前号でお名前が漏れたことを深くお詫び申し上げます。

今後の予定

・全国重症心身障害児(者)を守る会 創立 60 周年記念大会

日・時 令和 6 年 9 月 28 日(土)～29 日(日)

場 所 グランドニッコー東京 台場 B1F
東京都港区台場 2-6-1 Tel 03-5500-6711

内 容

1 日目 記念式典 感謝の集い

2 日目 特別講演 「支えること 支えられること」

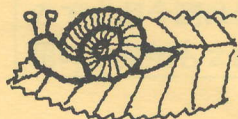
講師 社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長 村木厚子様

- 参加希望される方は紺井さん(Tel076-288-5413)まで申し込んで下さい。

・第 34 回東海・北陸ブロック大会

日・時 令和 6 年 11 月 9 日(土)～10 日(日)

場 所 富山市 オークスカナルパークホテル富山



編集人	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先	920-1154 石川県金沢市太陽が丘 3-19 Tel076-221-6822
	会長 永井 一郎
発行人	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312 番地
定 価	30 円